週間天気予報解説資料

2025年7月12日10時00分発表
気象庁

予報期間　7月13日から7月19日まで

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 15日は、低気圧が日本海西部を北上する。
- 15日から17日にかけて、太平洋高気圧の周りを回る湿った空気が本州付近に流れ込みやすい状態が続く。
- 18日から19日にかけて、太平洋高気圧が本州付近へ張り出し次第に日本付近を覆う。

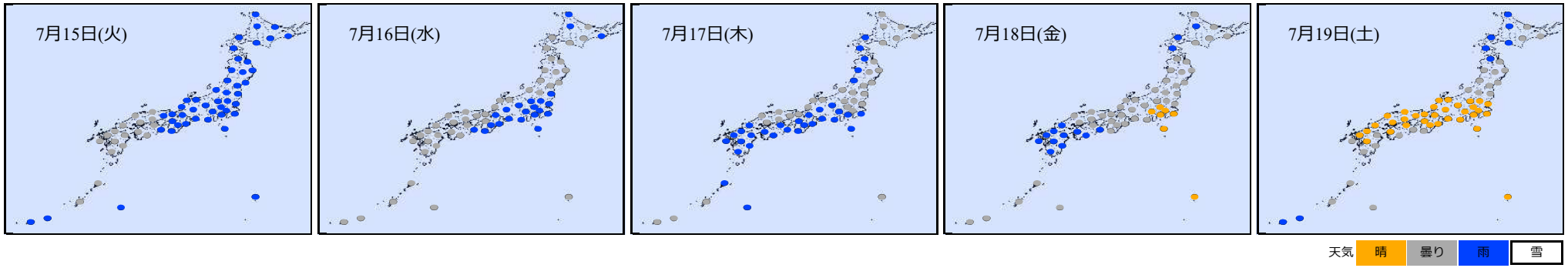
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 15日から17日頃にかけて、北日本から西日本の太平洋側を中心に、暖かく湿った空気の流れ込みの程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。
- 15日から16日頃は、北日本から東日本にかけての太平洋側では、気圧の傾きの程度によっては荒れた天気となり大しけとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

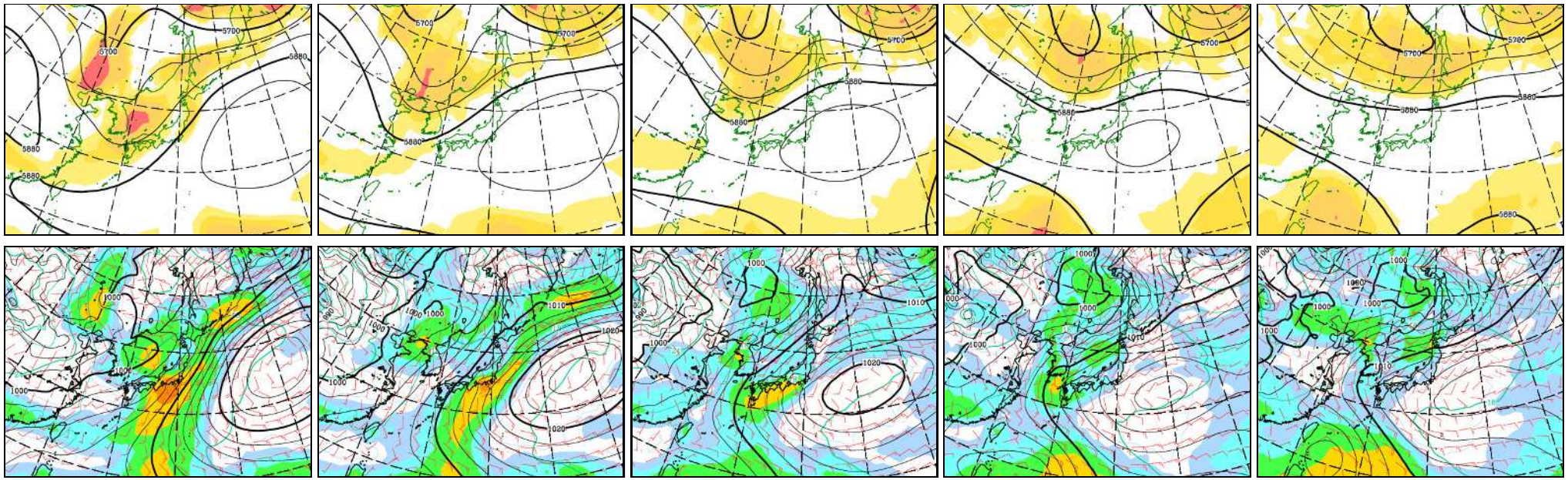
◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)



- 北日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 東日本は、15日から17日は曇りや雨の降る所が多いが、18日から19日は晴れや曇りとなる。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、19日は晴れや曇りとなる。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

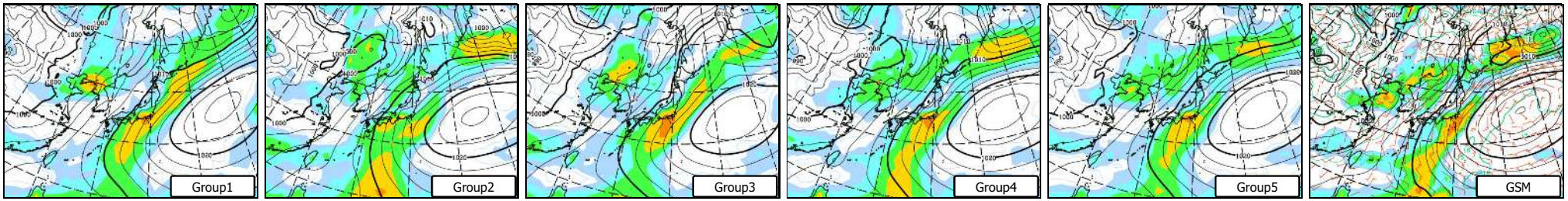
◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)

7月15日(火)　7月16日(水)　7月17日(木)　7月18日(金)　7月19日(土)



渦度(10^{-6}/sec以上) 0 10 20 40 80 100　風速 10KT 50KT　降水量(mm/24hours以上) 2 4 8 16 32 64

◆7月16日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図　海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



風速 10KT 50KT　降水量(mm/24hours以上) 2 4 8 16 32 64

◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料（ENS）は、15日は日本海西部に低気圧が進む予想となった。16日以降は本州付近へ張り出す太平洋高気圧が強まる傾向となった一方、期間の後半はオホーツク海付近にのびる気圧の谷が明瞭となった。期間の終わりは沖縄の南に熱帯じょう乱が進む予想が見られるが、熱帯じょう乱はモデル間のばらつきが大きい。
- スプレッドは比較的小さいが、5700mの特定高度線のばらつきは大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。